

卒業論文

箱崎と集合的記憶—風土の均質化とその問題点—

平成 16 年入学

九州大学 文学部 人文学科 人間科学コース

社会学・地域福祉社会学専門分野

平成 20 年 1 月提出

目次

はじめに	1
第一章 集合的記憶とは	3
第一節 記憶とは	3
記憶に対する心理学的アプローチ	
記憶に対する社会学的アプローチ	
第二節 集合的記憶とは	6
集合的記憶の定義	
集合的記憶と歴史	
箱崎を集合的記憶から探る意義	
第二章 箱崎と集合的記憶	9
第一節 箱崎の学生と集合的記憶 元九大生、S先生インタビュー調査	9
S先生インタビュー調査概要	
S先生インタビュー	
第二節 箱崎の商業と集合的記憶 居酒屋Yインタビュー調査	16
居酒屋Yインタビュー調査概要	
居酒屋Yインタビュー	
第三節 箱崎の伝統と集合的記憶 箱崎宮神主葦津さんインタビュー調査	22
箱崎宮インタビュー調査概要	
箱崎宮インタビュー	
第三章 町を集団とした集合的記憶の過去と現在	29
第一節 箱崎における集合的記憶の変容	29
箱崎が含む様々な集団	

集合的記憶の変化

変化の要因

第二節 集合的記憶画一化の危険性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

地方のファスト風土化

チェーン店の地方進出

犯罪率の上昇

第三節 町における集合的記憶の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

集合的記憶による帰属意識

理想とする集合的記憶をもつ地域社会

終わりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

参考文献一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40